

# 仙台育英学園報

WEB 版

仙台育英学園報 第 17 号 WEB 版

発行 / 平成 30 年 7 月 19 日

学校法人 仙台育英学園

〒 983-0045 宮城県仙台市宮城野区宮城野 2 丁目 4-1

Tel. 022-256-4141

URL <https://www.sendaikuei.ed.jp>



## アイ・チャレンジ 125

(2018 年版)

復興バージョン 8



学校法人 仙台育英学園 理事長

加藤 雄彦

2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災から 8 年目に入った 4 月、復興を祈念する特別展「東大寺と東北」が多賀城市の東北歴史博物館で開催しました。本学園生徒たちも世界遺産である奈良東大寺の寺宝が東北地方で一堂に会するのは初めてということもあり、順次博物館を訪れ、国宝 17 点、重要文化財 25 点を含む 150 点を鑑賞する機会を得ました。

1180 年の仏難は平重衡による南都焼き討ちが原因でしたが、重慶は東大寺勸進職を後白河法皇から拝命するや否や 1195 年には大仏殿の再建を成し遂げています。理財に長けていたおかげで、資金面では僧侶を勸進組織に編成し、浄財寄付のため自らも東奔西走しました。興味深いことは奈良時代の創建時と同様、奥州の砂金が東大寺の復興を支えたことです。その背景には当時平泉で栄華を誇った奥州藤原氏を頼り、砂金勸進できる環境がありました。

ところで、仏像制作において最先端の地位にあった運慶・快慶らの慶派の作である国宝「重慶上人坐像」を拝むと、重慶の不屈の精

神と信念の強さが口元をきりりと結んだ表情から窺うことができます。大変おこがましいことですが、仙台育英学園の創立者加藤利吉先生の晩年のお姿と重なる思いを感じるのは曾孫として自然の成り行きなのでしょう。

続く1567年戦国時代の兵火では大仏殿は焼け落ち、公慶上人が徳川幕府の許可を受け全国勧進行脚を始め、1692年に大仏開眼供養にこぎ着けました。

日本経済新聞の取材に応じた北河原公敬東大寺長老は「継続することの大切さを寺全体が共有したから」こそ2度の焼失を乗り越えて再建を果たすことができたと分析していました。

本学園に置き換えてみると、利吉先生の不撓不屈の姿勢は「逆転の仙台育英」の名のもとに、どのような困難に遭遇しても衰微廃絶の道を歩まないライオン精神を育んできたと思います。太平洋戦争末期の仙台空襲で全校舎焼失し、GHQの命令により校有地から強制的に退去させられたこと（1945年）。不審火による火災で木造校舎を焼失したこと（1965年）。東日本大震災による宮城野校舎の建替え（2011年）。戦災、人災、震災と三度の困難を乗り越えてこれたのは、「大切なものを守るためには諦めない、大義を以て続けていく勇気」だと信じます。

実際、新宮城野校舎の最終整備を進めるには、巨額の借入金がかかります。それでも、大切なものをまもるためにこれから仙台市の許可を頂き、校舎周辺の擁壁・外構工事に取り掛かり、今後はテニスコートやフットサル場を備えた体育施設の工事を進めていきたいと考えています。

これからも皆様のご理解とご支援を心からお願い申し上げます。



## 2018 仙台育英学園 トピックス【1-6月】

January, 2018

### 国際バカロレアDPクラスから今年も“IB資格取得者”が誕生！



東北初の国際バカロレア【IBDP】認定校となつて3年目。外国語コースIBクラス第2期生からは2人の生徒がIB資格を取得しました。これまでの資格取得者は、北海道大、お茶の水女子大、上智大、立教大、法政大、立命館大などに合格・進学しています。

January, 2018

### 中国からの留学生、戴くんが世界大学ベスト7の大学に合格



外国語コース留学生クラス3年所属の中国からの留学生、戴 顧煒(ダイ コヨウ)くんが、世界大学ランキングTOP100で7位に位置付けられているイギリスの総合大学・UCL(ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン)への受験に挑戦し、合格しました。

February, 2018

### 書道部が“書の甲子園”で2度目の全国準優勝を獲得！



『書の甲子園』とも呼ばれている第26回国際高校生選抜書展(毎日新聞社、毎日書道会主催)において、本校書道部が全国準優勝という快挙を成し遂げました。準優勝は2010年以来2度目、そして東北地区優勝は3年連続8度目の受賞です。

February, 2018

### 仙台育英獅子太鼓部がミクロネシア・ポンペイ島で演奏



2月16日から20日まで、本校獅子太鼓部の部員9名がミクロネシアのポンペイ島を訪問。17日には Our Lady of Mercy 高校の体育館で行われたジャパンフェスティバルに参加し、ステージで太鼓演奏と獅子舞やひよっとこの演舞を披露しました。

February, 2018

### パンサー尾形先輩が仙台育英運動部OBとグローリーホールで



2月21日、多賀城校舎グローリーホールを会場に、本校出身の尾形貴弘先輩(お笑いトリオ、「パンサー」のメンバー)によるトークショーが開催されました。ステージ上には千葉ロッテマリーンズで活躍した天野勇剛先輩の姿も。在校時代の話に盛り上がりました。

## 2018 仙台育英学園 トピックス【1-6月】

February, 2018

### 台湾の学生が多賀城校舎で部活動体験や日本語の授業に挑戦



2月23日(金)、台湾の学校「国立曾文高級家事商業職業学校」と「台南市私立鳳和高級中学」の生徒たちが多賀城校舎に。本校獅子太鼓部による和太鼓体験、多賀城校舎のお茶室「英松庵」での茶道部による茶道体験などを通しての交流が行われました。

March, 2018

### 全国高校女子駅伝大会優勝祝賀会



昨年12月に京都で行われた「女子第29回全国高等学校駅伝競走大会」で、本校の女子チームが23年ぶり3度目の優勝に輝きました。これを祝して「全国高校女子駅伝大会優勝祝賀会」が3月9日(金)、ホテルメトロポリタン仙台で開催されました。

March, 2018

### 書道部が『第5回 校外展』を開催



本校書道部の書道展が、3月16日(金)～18日(日)に開催されました。この書道展「3年生の卒業記念・ことし1年の感謝展」は、今年で5回目。書道部3年生の卒業記念と、1年間支えてくれた周りの方々への感謝の気持ちを込めて開かれています。

March, 2018

### 特別進学コース 国公立大学現役合格者が宮城野校舎に大集合！



3月22日(木)、特別進学コースから志望大学に現役合格した生徒たちが宮城野校舎に集合しました。集まったのは東北大学、山形大学、宮城教育大学など国公立大に合格した生徒たち。「後輩たちへメッセージを！」の声に応えて、16人が集まってくれました。

March, 2018

### 秀光、MYP (Middle Years Programme) の認定校に



秀光は3月、国際バカロレアMYP (Middle Years Programme) の認定校となりました。2015年2月にすでに認可を受けている高校での国際バカロレアDP (Diploma Programme) と合わせることで6年間にわたるプログラムが受講可能になります。

## 2018 仙台育英学園 トピックス【1-6月】

April, 2018

### 仙台育英学園高等学校秀光コース入学式



仙台育英学園高等学校秀光コースの入学式が、4月5日（木）宮城野校舎ゼルコバホールを会場に行われました。今年2月末に秀光中等教育学校の前期課程を修了した第20期生は、4月からは仙台育英学園高等学校 秀光コースの生徒として学ぶことになります。

May, 2018

### 情報科学コース 新田さん『MOS世界学生大会』で今年も入賞



情報科学コース3年生の新田絢那さんが、『MOS世界学生大会2018日本代表選考』高等学校・高等専門学校・高等専修学校部門の“ワード”で入賞しました。新田さんは2年生のときに昨年の同大会 エクセルでも入賞しているため2度目の快挙となります。

May, 2018

### 陸上競技部、県高校総体で男女総合優勝



宮城県高校総体で、陸上競技部が男女そろって総合優勝の快挙を成し遂げました。5月24日～28日まで宮城スタジアムにおいて行われた大会で、男子は7年連続の総合優勝（連続優勝記録を更新中）、女子は16年ぶりの総合優勝を果たしました。

May, 2018

### 秀光、山形交響楽団とのジョイントコンサート



5月26日、本校宮城野校舎ゼルコバホールで、「STAND 山形交響楽団とのジョイントコンサート」が行われました。ステージには、秀光の第14期生のチェロ奏者・中村隆人さんも登場。ハイドンのチェロ協奏曲第1番などが演奏されました。

June, 2018

### 仙台育英 Open Campus 2018 がスタート



今年も仙台育英学園高等学校オープンキャンパスがスタート。ゼルコバホールのメイン会場は毎年多くの中学生と保護者で埋め尽くされますが、今年の第1回目（6月23日）には513人もの参加者が、ホールには入りきらず、オークルームでも行われました。

# 学校法人 仙台育英学園の現状

## 1 平成30年度 在籍生徒数 (2018.5.1 現在)

### (1) 仙台育英学園高等学校

全 日 制	1 学 年	2 学 年	3 学 年	合 計
特別進学	262	212	198	672
外国語	95	79	79	253
英進進学	327	227	275	829
情報科学	99	93	84	276
フレックス	196	184	222	602
技能開発	157	135	124	416
秀光コース	29	-	-	29
合 計	1,165	930	982	3,077

通 信 制	30年度生	29年度生	28年度生	27年度生	26年度以前生	合 計
宮城・青森・沖縄	130	229	170	56	36	621

\* 30年度は前期生のみ

### (2) 秀光中等教育学校

1 学 年	2 学 年	3 学 年	5 学 年	6 学 年	合 計
43	36	37	34	25	175

学校法人 仙台育英学園の現状

## 2 平成29年度 決算状況

平成29年度仙台育英学園の会計決算も無事終了し、関係機関への報告を残すのみとなりました。会計収支概要は下記の表のとおりです。7年前の東日本大震災の爪痕はまだ引き続いてはおり、本学会計の支出負担を一挙に軽減できるものではありません。しかしながら、生徒たちがより一層充実した学園生活を送ることができるよう日々教育指導内容の充実は言うに及ばず、施設設備の充実にも努めてきたところです。その結果、平成29年度の卒業生の就職希望者の全員が就職でき、大学等進学者の進学先・進学者数等も大幅に躍進しました。また、平成30年度の入学選抜においても、受験生及び入学者共に増加しました。特別進学・英進進学コースの入学者にあっては合わせて3学級の増加となりました。更に、国際バカロレア・ディプロマプログラム（IBDP）の認定以来4年を迎え益々充実・発展すべく、日々その環境整備を推進しているところです。IBDPの導入効果はIBコースを選択している生徒に限定されず、その教育方針は学校全体に波及効果（好影響）をもたらしているものと確信しています。生徒たちがより一層充実した学園生活を送ることができるよう更なる教育環境の整備・充実を図っていかねばなりません。そのために財政基盤を強化し、引き続き教職員一丸となって学園運営を推進してまいりますので、皆様方には引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### ■ 平成29年度 事業活動収支状況

【単位：千円】

	科目	決算額	摘要
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	1,945,592
		手数料	77,471
		寄付金	38,456
		経常費補助金	1,029,222
		国庫補助金	12,649
		地方公共団体補助金	1,016,573
		付随事業収入	159,531
		雑収入	111,274
		教育活動収入計	3,361,546
			科目
支出の部	人件費	1,645,787	
	教育研究経費	1,573,262	減価償却額 529,173 含む
	管理経費	353,890	減価償却額 14,699 含む
	徴収不能額	1,869	
	教育活動支出計	3,574,808	
教育活動収支差額	△ 213,262		
教育活動外収支差額	△ 39,832		
特別収支差額	23,093		
基本金組入額	△ 446,900		
当年度収支差額	△ 676,901		

学校法人 仙台育英学園の現状

■ 平成29年度 貸借対照表

【単位：千円】

資 産 の 部		
科 目	年 度	29 年度末
固定資産		20,569,257
流動資産		722,246
資産の部 合計		21,291,503
負 債 の 部		
科 目	年 度	29 年度末
固定負債		3,653,771
流動負債		1,917,497
負債の部 合計		5,571,268
純 資 産 の 部		
科 目	年 度	29 年度末
基本金		26,288,196
繰越収支差額		△ 10,567,961
純資産の部計		15,720,235
負債及び 純資産の部合計		21,291,503

# MYP: Preparing for the Future

## 未来への準備

Kerry Winter 秀光中等教育学校 ケリー ウィンター



### 1 MYP

Sendai Ikuei Gakuen in partnership with Shukoh Middle School was authorized in March 2018 as the first and only school to offer the International Baccalaureate Middle Years Programme (MYP) in the Tohoku region. It joins a community of 4871 IB schools around the world which carry the IB mission statement: to develop inquiring and compassionate young people who “help to create a peaceful world through intercultural understanding and respect” (International Baccalaureate Organisation, 2017).

However, this mission is not something new for Sendai Ikuei Gakuen. Founded on the ideal that the development of

### 1 MYPとは

秀光中等教育学校は仙台育英学園高等学校とパートナーシップを組み2018年、3月、東北で初めてそして唯一の国際バカロレア（以下IBという）ミドルイヤープログラム（以下MYPという）の認定校になりました。このことにより仙台育英学園は世界の4,871校にも及ぶIB校ネットワークの仲間入りを果たし、その理念を共有することになりました。すなわち多文化に対する理解と尊敬を通じて、平和でより良い世界の実現のために貢献する、探究心、そしておもいやりのある若者の育成（IBO 2017）を図ることになりました。

しかしこの理念は仙台育英学園にとって全く新しいことではありません。至誠、質実

sincere, confident, determined and responsible students would contribute to a peaceful world, the founding values of Sendai Ikuei Gakuen are shared with the International Baccalaureate: Sincerity, respect, academic excellence, cultivation of a healthy mind and body, tolerance, service, and responsibility.

The MYP is one of three International Baccalaureate programmes designed for students aged 12-16, and is a student-centered, inquiry-based programme in which students study 8 subjects, culminating in a self-directed Personal Project at the end of the programme. The MYP curriculum is based on key concepts which are shared across the 8 subjects, and grounded in global contexts which give all content relevance.

剛健、自治進取の気風に溢れた生徒の育成を図り、世界平和に貢献するという理想を掲げる仙台育英学園の建学精神はIBとその価値観を共有しております:「互譲、切磋、練磨、規律、寛容、感謝、奉仕」(仙台育英学園生活信条七箇条)。

MYPは12歳から16歳までの生徒たちのためのプログラムです。生徒中心の探究型のプログラムで、生徒たちは8つの科目を学び、プログラムの仕上げとして自分で探究テーマを決定し、進めていくパーソナルプロジェクトの中でその学びの成果をまとめることとなります。MYPの学習は「重要概念」に基づいて構成されており、さらにこの概念は8つの教科のなかで教科横断的に共有されております。また「グローバルな文脈」がプログラム全体の根底にあり、全ての学習内容が「グローバルな文脈」と何らかの関連性を持っています。

## 5 benefits of MYP

### 1. Skills for the 21st century

We are living in a rapidly changing era, where more information is available than ever before – at the touch of a finger. Where technology and artificial intelligence (AI) are developing so rapidly that students are currently

## 2 MYPの利点

### 1) 21世紀を 生き抜くスキル

私たちは今急激に変化する時代を生きております。指一本動かせば以前にないほどの情報が手に入ります。科学技術や人工知能(AI)が目まぐるしく発達して、生徒たちはいずれ何らかの職業につくために現在勉学に励んでいます

preparing for jobs which do not yet exist. Where our future depends on the solution of unprecedented social, economic and environmental problems that we now face.

So, the skills that are needed to succeed in the twenty-first century are different to what was needed in the past. We need skills for life; not just for university entrance. The table below highlights the most sought-after workplace skills according to the National Association of Colleges and Employers (NACE) in 2016: research skills, digital and media literacy skills, critical and creative thinking skills, problem solving skills, communication skills, and social skills.

が、彼らが大学を卒業するには今までは存在していない未知の職業に志願することになるでしょう。また、未来を切り開いていくためには、私たちが直面している前例のない社会的、経済的、そして環境的な問題を解決できるかどうかにかかっております。

それゆえに、21世紀で成功するために必要なスキルは過去に必要とされていたものとは異なります。ただ単に大学入試のためではなく、生きていくために、私たちはスキルを必要としているのです。下図は2016年全米大学・産業界連絡協議会による職場で最も求められているスキルをピックアップしました；それらは探究スキル、デジタル・メディアリテラシースキル、批判的、創造的に考えるスキル、コミュニケーションスキル、そして人間関係構築スキルです。

Leadership	リーダーシップ	80.1%
Ability to work in a team	チームワーク	78.9%
Communication skills	コミュニケーションスキル	70.2%
Problem-solving skills	問題を解決スキル	70.2%
Strong work ethic	働くことに対する使命感	68.9%
Initiative	積極性	65.8%
Analytical/quantitative skills	分析スキル	62.7%
Flexibility/adaptability	柔軟性	60.9%

Figure 1: The Attributes Employers Want to See on New College Graduates' Resumes ((NACE), 2016)  
 《雇用者が大学新卒生に持って欲しいと考えている特性・能力》

## 2. International Mindedness

In 2013 Prime Minister Shinzo Abe announced an initiative to develop Global Human Resources (gurobaru jinzai) (Abe, 2013). In addition to developing the aforementioned 21st century skills, gurobaru jinzai would exhibit international mindedness – a respect and tolerance of people with differing ideas and beliefs, empathy towards others regardless of race or culture, and a desire to contribute to a more peaceful world. While many of these attributes are captured in Rikichi Katoh's founding principles, the IB summarizes international mindedness into ten attributes, summarized in the IB Learner Profile. As we endeavor to embody these attributes as a school community, we can expand our mindsets which will enrich our lives, and build bridges of peace to other cultures and countries.

## 2) 国際的視野

2013年に安倍晋三首相はグローバル人材を育成する政策を発表しました。前述の21世紀を生き抜くためのスキルを育成することに加え、グローバル人材は国際的視野 – 異なった考えや信念を持っている人々を尊重し、寛容する態度、人種、文化の違いに関わらず他人に対する共感を持つこと、そしてより平和な世界を創造することに貢献したいという欲求 – を見せることができなければなりません。これらの特性の多くは加藤利吉校長先生の建学の精神の中に含まれています。IBでは国際的視野をその学習者像で10の特性にまとめております。学校現場でこれらの特性を具現化しようとする時、私たちの思考の幅を広げ生活を豊かにし、他の国や文化との平和的な架け橋を構築することができます。



Figure 2: International Baccalaureate Learner Profile 《IB 学習者像》

### 3. Holistic Education

The MYP recognizes that students learn in different ways, and have unique abilities and strengths. Traditionally academic ability (学力) was has been measured by written tests, in which students were required to recall information taught to them. However, in the MYP, students are given the opportunity to learn using different skills, and

### 3) 全人教育

MYPは、生徒がそれぞれの学習方法を持ち、様々な能力や強みを持っていることを認識しています。日本では伝統的に、学力は記述試験で測られてきました。そのため生徒は教えられた情報を暗記しなければなりません。しかし、MYPにおいては、生徒は様々なスキルを用いて学習したり、自分たちの学びを証明するために自分の強み

draw on their strengths to demonstrate their learning. This extends beyond written tests to research-based work, experiments, presentations, posters, reports, compositions, and practical performance. An MYP education allows students to learn in a deep and enduring way, in which their uniqueness is recognized.

を生かしたりする機会が与えられています。これは記述テストにとどまらず、探究に基づいた課題、実験、プレゼンテーション、ポスター制作、レポート、作文や様々な実演にまで及びます。MYPの学習で生徒たちは深く永続的に学びますので、その学びの中で自分たちの特質も理解・評価されることとなります。

#### 4. Preparation for the 2020 Center Exam

The Ministry for Education, Culture, Sports and Technology Japan (MEXT) has recently announced a change to the Center Exam, which is due to take effect from 2020. This exam, too, is an initiative to further develop *gurobaru jinzai* in the Japanese education system, in recognition that critical thinking and communication are also imperative in assessing students' academic ability. The implementation of MYP at Sendai Ikuei Gakuen was strategic in order that the first MYP graduates would be prepared as the first cohort of students to take the new Center Exam in 2020.

#### 4) 2020年の入試対策

文部科学省は最近センター試験を変更することを発表しました。それは2020年から実施されます。この新しい試験も日本の教育制度の中でグローバル人材をさらに育成しようという試みのひとつで、生徒の学力を測る時には批判的な思考とコミュニケーション能力も必須であるという認識のもとで実行されるのです。MYPを仙台育英学園に導入したのは戦略的な意図もあります。つまり最初のMYP卒業生が2020年の共通テストを受験することになる最初の生徒たちですのでその準備をしっかりさせてあげることができます。

## 5. Service Learning

Renown Australian scholar Sir John Monash famously said, "Equip yourself for life, not solely for your own benefit but for the benefit of the whole community" (0808 Ending WWII, 2017). The MYP is an outward-focused education. There is a deliberate focus in the MYP to apply what you learn to real life. In what way can you use what you know to improve the world in which you live? How can you help the people in your life? What implications does what you learn have on how you live? The MYP is grounded in application – to your life, to your community, to the world in which we live, in an effort that in some small way we would better our world for the next generation.

## 5) 奉仕の精神

有名なオーストラリアの学者であるジョン・モナッシュ卿のよく知られた次の言葉があります。

「自分自身のためだけではなく地区全体のために、世の中に出る準備をなさいます。」(0808 Ending WWII, 2017)

MYPは外の世界に向けた教育プログラムです。自分が学んだことを実生活に応用するというよく練られた意図がMYPにあります。どのようにしたら自分の知識を自分が住んでいる世界をより良くするために活用できるのでしょうか？どうしたら自分の生活の中で人々の力になれるのでしょうか？自分の学んだことが自分の生き方にどのような示唆を与えているのでしょうか？MYPの土台には適用力があります。それは自分の生活に対してだったり、自分の住んでいる地区に対してだったり、自分たちの住んでいる世界に対してだったりします。それは次の世代にどんなに少しでもより良い世界を残すための努力なのです。

## MYP at Sendai Ikuei

MYP at Ikuei offers students unique opportunities. While preserving the cultural uniqueness of the Japanese education system, students have the opportunity to participate in authentic cultural exchanges, and expand their mindsets to gain an intercultural understanding and awareness. Design students experience computer programming and robotics classes in senior years. Students participate in a number of service learning activities including Green School, attending the Powerful Youth leadership camp in Canada, engaging with students from other countries such as the Watoto Children's Choir from Uganda. The MYP teaching staff is also diverse and currently consists of teachers from four different countries. Above all, MYP teachers, along with the students, are committed to professional development and to developing International Mindedness themselves, in order to better ourselves, and better the world in which we live.

## 6) 仙台育英学園の MYP

仙台育英学園の MYP は生徒たちにユニークな機会を提供します。日本の教育制度の本来の特長を残したまま生徒たちは本物の文化交流に参加したり、相互文化理解を得るために思考の幅を広げたりする機会を持ちます。デザインの授業ではプログラミングやロボティクスを上級学年で学習します。生徒たちはグリーンスクールやカナダでのパワフル・ユース・リーダーシップキャンプに参加したり、ウガンダからやって来たワトト合唱団のような海外の生徒たちと交流したりして、奉仕の精神を学ぶ様々な活動に参加しています。MYP の先生方も多様で4カ国出身の先生で構成されております。特に MYP の先生方は生徒たちとともに教育研修や自分たちも国際的視野を広げようとすることに使命を感じ、自分たちを向上させ自分たちの住んでいる世界をより良くしようと努めております。

(訳 高橋郁夫)

## 平成30年度 宮城県高等学校総合体育大会 成績

《団体種目》 ※1～3位まで

### ■仙台育英学園高等学校

#### 《優勝》

陸上競技男子総合	県史上初の7連覇10回目
男子トラック	3年連続11回目
陸上競技女子総合	16年ぶり
サッカー男子	3年連続27回目
ラグビー	23年連続27回目
剣道男子	4年ぶり7回目
ライフル射撃女子総合	
女子エアライフル(大会新)	
女子ビームライフルA(大会新)	

#### 《準優勝》

ライフル射撃男子総合、男子ビームライフルA、  
女子ビームライフルB

#### 《3位》

硬式テニス女子、サッカー女子、柔道男子、男子ビームライフルB、  
剣道女子



## 平成30年度 仙台市中学校総合体育大会 成績

《団体種目》 ※1～3位まで

### ■秀光中等教育学校【前期課程】

#### 《優勝》

野球(県大会出場)